



SAPIXサピックスにいちばん 身近な個別指導である PRIVATO (プリバート) その魅力をご紹介します。

第6弾 「算数はココで差がつく! 課題を「見える化」して得点力アップ!」

中学入試においては、ほとんどの学校で算数が必須科目となっており、ほかの教科と比べて、比較的得点差のつきやすい教科であることから、入試の可否を左右する重要な科目として位置づけられているように思います。実際プリバートにおいても、最も多く提供している授業が算数であり、それだけ多くの方が必要だと考えている(何かしらの課題を抱えていらっしゃる)ということなのだと思います。そこで今回は算数の得点力アップという点に注目し、特にテストの得点に直結する「二つの能力」について考察するとともに、プリバートの活用法についてお伝えします。

① 根本的な理解によって発揮される「見立てる力」

算数に必要な学力といっても、実にさまざまな能力が求められるので、簡単にひとくくりにするわけにはいきません。たとえば、次のような設問の場合

問A 花子さんが50円のお菓子和80円のお菓子を、合わせて30個買ったところ、代金は1800円になりました。花子さんは50円のお菓子を何個買ったでしょうか。

この問題を見た瞬間に、「これ、つるかめ算じゃん!」とか「面積図が使えるそうだな」といった「見通し」を立てられる力、いわば「見立てる力」とでも呼ぶべきものですが、この力があるのとないのでは雲泥の差です。

算数の苦手なお子さまが陥りやすい学習として、

- ・解き方や式を何でもかんでも丸暗記しようとする…
 - ・「答えの数値が合っていたから」という理由で、取りあえずOKにしてしまう…
 - ・(解説を聞いたり、読んだりして)「何となくわかった(気がする)」で終わらせてしまう…
- などがありますが、このような学習に慣れてしまっていると、次のような設問に対して

問B 1800m離れた駅に向かって、家を出発した太郎さんは、当初は分速50mでゆっくりと歩いていましたが、途中で遅刻しそうなことに気づいて、分速80mにスピードアップをして駅に向かったところ、ぴったり30分後に駅に着くことができました。スピードアップしたのは何分後だったでしょうか。

距離・速さ・時間が出てくることから、「これは旅人算だったかな?」ということになりかねません。

問Aと問Bの見た目は確かに違っていますが、ほぼ同じ考え方で解くことのできる問題です。にもかかわらず、それを見抜くことができないのは、理屈をきちんと理解していないからです。

算数において、しっかりと得点するためには、まずは理屈からしっかりと理解し、「見立てる力」を育み、「使える武器」にしていくことが重要です。

そこで、プリバートでは次のような受講パターンをご提案します。

パターン① 目標:「見立てる力」の養成 ※算数が苦手なお子さま向け

- ① サピックスの授業で習った内容を、毎回プリバートでいいに確認していく
- ② (プリバートの受講後に) 自宅ですっきりと演習問題に取り組む

このサイクルを繰り返す!

SAPIXのパーソナルコーチ
VERTICE
ヴァーティス

VERTICEお茶の水

80分完全1:1の個別指導



卒業生アンケートより

サピックスとプリバートを併用されたことで、その学習効果を実感された場面は?

- 算数の各種プリントをプリバートで見ただき、わからない問題を徹底的になくすことができました。非常に学習効果が高かったと感じます。(開成中進学: S・Mさん)
- 算数はかなり長い間苦しみましたが、模試でも偏差値が60を超えるようになり、最終的に志望校の過去問でも高得点が取れるようになりました。(女子学院中進学: C・Hさん)

- 算数は子どもが苦手かもしれないと思った4年生から通うことで、受験までの長い視野と短期の目標をプリバートにアドバイスしていただきました。(横浜共立学園中進学: R・Gさん)

② 「わかる」を得点に結びつけるための「解き切る力」

算数の学習相談を受けるなかで、よく耳にする声としては

- ・「どうもやり方は理解しているようなのですが…」とか
- ・「いつまでもケアレスミスが減らなくて…」とか
- ・「テストの直しを家でやると、できるんですけど…」といったものがあります。

さて、どうということでしょうか? おそらく「きちんとやりさえすれば、うちの子はできるはずだ!」ということをおっしゃりたいのだと思うのですが、実は「きちんとやりさえすれば」という前提部分がなかなかのくせ者で、おそらく大半のケースは単に「解き切る力」が足りていないだけなのだと思います。

その「解き切る力」とは、言い換えれば「自力で正解までたどりつくことのできる力」ということになると思います。具体的には

- ① 計算力…与えられた時間内で正しい計算ができるかどうか
- ② 答案作成力…問題文の内容から、すばやく式を導き出せるかどうか
- ③ 条件整理力…設問の条件に合うような(ある程度)正確な図が描けるかどうか などを。

これらの力を鍛えていくことが得点力の安定につながっていくのですが、こうした力は学年が上がっていくごとに、より複雑な処理や手順が求められます。しかも厄介なのは、お子さま自身で気づいて、自力で修正することがかなり難しいという点です。

そこで、次のようなパターンでのプリバートを利用してみてはいかがでしょうか。

パターン② 目標:「解き切る力」のレベルアップ ※算数は好きだが、難なところのあるお子さま向け

- ① サピックスの教材について、まずは自宅での家庭学習に取り組む(自力でがんばる)
- ② プリバートでは、講師が隣にいる状態で制限時間を決めて問題演習に取り組む

ココが重要!

算数でしっかり得点したいの思いは同じでも、状況はまさに人それぞれ。プリバートではさまざまなタイプのお子さまの状況を見極めたうえで授業を提供させていただきます。ぜひとも個別指導によるサポートを上手に取り入れることで、お子さまにとっての「最適解」を見つけてみませんか。まずはご相談だけでも結構です。皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。



アンバサダー
中野 英樹先生

お問い合わせ・お申し込み

プリバートについてのご相談・お問い合わせは、各教室までお気軽にお電話ください。

お近くの教室を探す▶



PRIVATO
www.privato-sapix.com

プリバート

検索

